

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-40

Sony Corporation ©1998 Printed in China

T02-1001A-1

カセットコーダー
TCM-40

安全のために

警告

乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

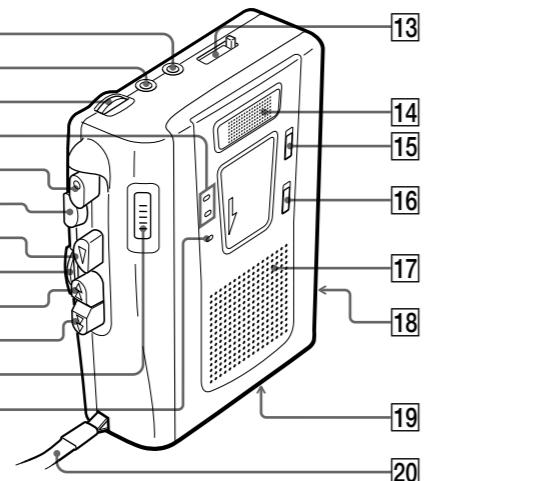
録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
電源についてをご覧ください。

カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える、録音時間2倍モード*搭載。
- 2段階ランプで知らせる録音/電池残量ランプと電池を交換するときを知らせる電池交換お知らせランプ。
- 録音状況に応じてマイクの感度を切り換えることができる、マイク感度切り換えスイッチ。
- テープの再生スピードを約+30~約-15%の範囲で速めたり遅めたりできる、再生スピード調節機能(スピードコントロール)。
- 再生・録音時にテープが最後まで行くと、押し込まれていた操作ボタンが自動的に戻る、オートシャットオフ機能。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップボーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗がありません。
- 発言者の声を明瞭にとらえるBoundary effect収音方式の、フラットマイク内蔵。

各部のなまえ



1 イヤホンジャック
2 マイク(プラグインパワー)
ジャック

3 音量つまみ
4 電池/録音ランプ

5 ●録音ボタン
6 ■停止ボタン

7 ▶再生ボタン
8 スピードコントロール
スイッチ

9 ◀◀巻戻し/レビュー
ボタン

10 ▶▶早送り/キューボタン

11 一時停止→つまみ

12 ◇(電池交換お知らせ)ランプ

13 テープカウンター
14 フラットマイク
15 録音時間切り換えスイッチ

16 マイク感度切り換えスイッチ
17 スピーカー
18 電池入れ
19 DC IN 3Vジャック

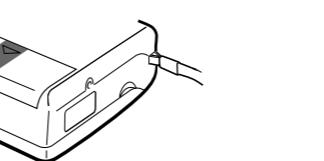
20 ハンドストラップ

準備する

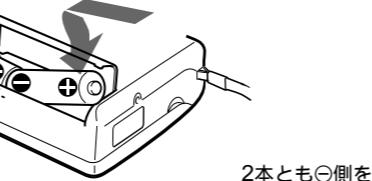
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 乾電池を入れる

①押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



②単3形乾電池2本を入れる

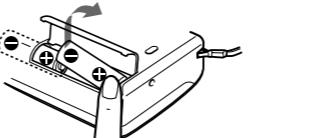


乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

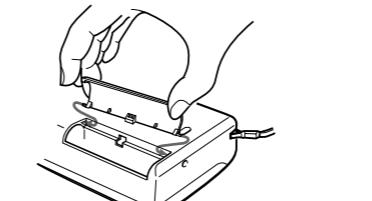
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。



録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。

録音にはノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。
クローム(TYPE II)、メタル(TYPE IV)では正しく録音できないことがあります。

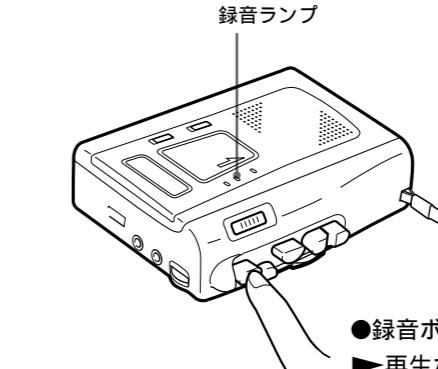
発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置いてください。

4 録音する

発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置いてください。

1 カセットを入れる

- ①手でふたを開ける
②録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる
③ふたを閉める



- 録音ボタンを押す
▶再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

2 録音時間を選ぶ



録音時間切り換えスイッチを「標準」または「2倍」に合わせる

操作 押すボタン、ずらすつまみ

録音を止める ■停止

一時停止する 一時停止

一時停止解除するには、一時停止→つまみを元に戻す*

カセットを取り出す ■停止ボタンを押してから手でふたを開ける

*一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

標準(4.8cm/s)：通常の録音をするとき。
「2倍」のときより良い音で録音できます。
2倍(2.4cm/s)：テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。
会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。
(60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます)

3 マイク感度を選ぶ



マイク感度切り換えスイッチを「標準」または「口述」に合わせる

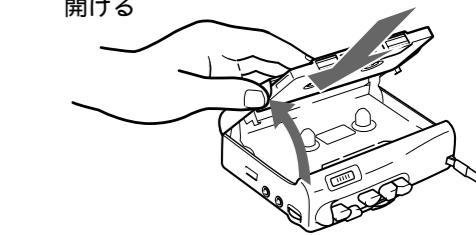
録音の状態	マイク感度切り換えスイッチ
遠くの音や小さい音を録音する (例:会議を録音するとき)	標準
近くの音や大きい音を録音する (例:マイクを口元に近づけて録音するとき)	口述

テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。
ノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

1 カセットを入れる

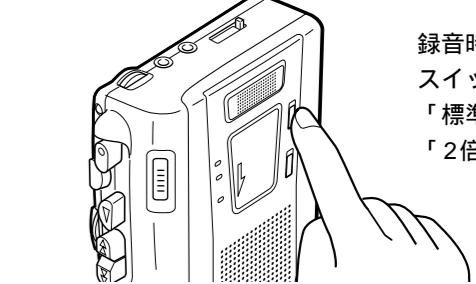
- ①手でふたを開ける
②再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる
③ふたを閉める



- ②再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる
③ふたを閉める

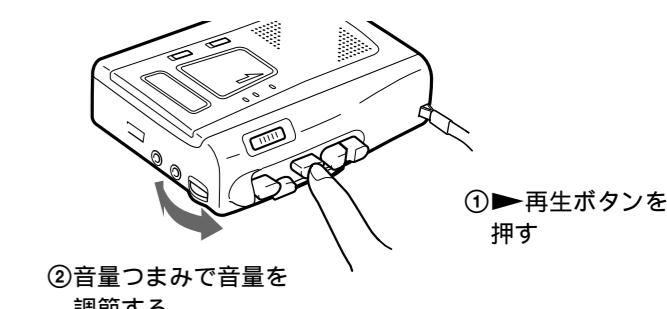
2 「標準」または「2倍」を選ぶ

録音時間切り換えスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。
市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。



- 録音時間切り換えスイッチを「標準」または「2倍」に合わせる

3 再生する



- ①▶再生ボタンを押す
②音量つまみで音量を調節する

テープ速度がおかしいときは、録音時間切り換えスイッチを確認してください。

操作 押すボタン、ずらすつまみ

テープを止める ■停止

一時停止する 一時停止

一時停止解除するには、一時停止→つまみを元に戻す*

早送りする** ▶▶早送り/キューボタン

巻戻す** ◀◀巻戻し/レビュー

音を聞きながら 再生中に▶▶早送り/キューボタンを押し続ける

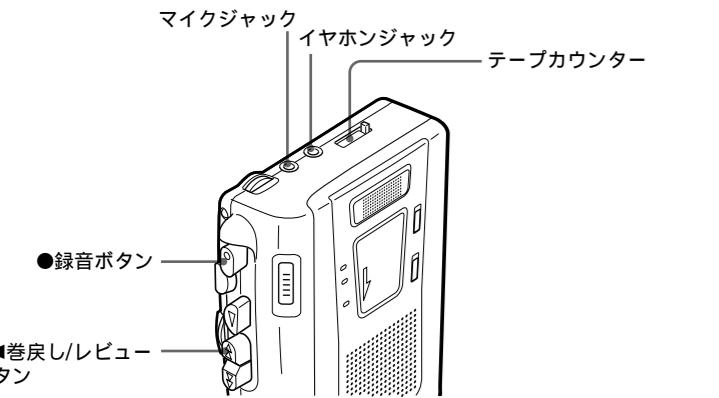
早送りする(キューボタン) 音を聞きながら 再生中に◀◀巻戻し/レビューを押し続ける

巻戻す(レビュー) カセットを取り出す ■停止ボタンを押してから手でふたを開ける

*一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

**早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので必ず停止ボタンを押してください。

録音の便利な機能を使う



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

録音中の音を聞くには

別売りのイヤホンをイヤホンジャックにつなぎます。
音量つまみで音量を調節しても、モニター音は変えられません。録音された音の大きさは一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたもの的一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものすぐに聞く（ワンタッチレビュー）

録音中に◀◀巻戻し/レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

テープが終わりまでくると（オートシャットオフ機能）

録音・再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、自動的にボタンが解除されテープが止まります。

外部マイクや他の機器から録音する

ご注意 録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかりと差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク（別売り）で録音する

マイクジャックにプラグをしっかりと差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

ミニプラグ付きマイクロホンECM-T15（別売り）など

マイクへ

乾電池を消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

他の機器から録音する

RK-G64（別売り）

EAR、EARPHONE、
REC OUT、
などへ

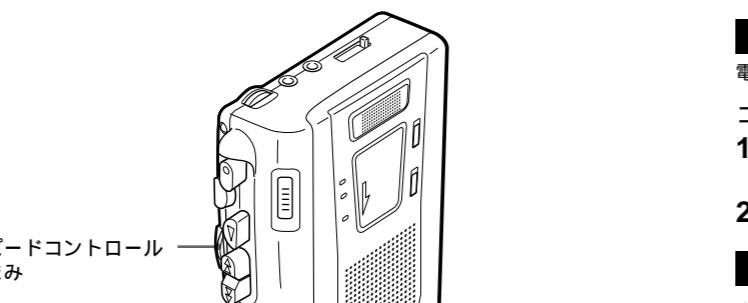
TCM-40

1 本機にカセットを入れます。

2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。（テレビやラジオのREC OUTやイヤホンジャックなどから録音するときは、音量を変えて録音には影響しません。）

3 ●録音ボタンを押します。

再生の便利な機能を使う



再生スピードを調節する

本体のスピードコントロールつまみを次のように調節してください。

再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	遅い
通常の速度で再生する	中央（白い線のところ）
速く再生する	速い

ご注意

録音中はスピードコントロール機能は使えません。

電源について

ご注意 乾電池を交換する時期

乾電池の残量は録音／電池残量ランプでお知らせします。
電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。電池交換ランプが点滅したら、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。

新しい乾電池で使用時

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

電源について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

- 早送り（キュー）／巻き戻し（レビュー）中に電池交換ランプが点滅することがあります。テープが正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 再生中に音量を上げたときなどに録音／電池残量ランプが音に応じてちらつくことがあります、乾電池を交換する必要はありません。
- 電池交換ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、内蔵スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりで電池交換ランプが瞬間に点滅することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要はありません。

乾電池の持続時間

（EIAJ*）

使用電池

録音時

再生時

ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)使用時

約11時間

約11時間

ソニーマンガン乾電池R6P(SR)使用時

約3時間

約3時間

*EIAJ（日本電子機械工業会）規格による測定値です。（ソニーHFシリーズカセットテープ使用、音量7分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合。）

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

1 ACパワーアダプターAC-E30M（別売り）を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。

2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30M（別売り）（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。

上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、レバーを押しながら、●録音ボタンを押し込んだあとに、別売りのクリーニングキット（KK-41）でヘッド、キャブスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。録音／再生ヘッドはピカピカ光るような状態になりますようにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー／ベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意

録音について

乾電池を交換する時期

乾電池が消耗していくと

点灯

乾電池を交換してください

点滅

TCM-40

ご注意